

教科	図画工作科
第3学年 題材名 『これがかきたい』	
日時	令和8年7月8日(水)
授業者	奥山 雄太
本時のねらい	材料の特徴や描いた線や形から、どのような筆やペンなどを作るかを考え、作成する。
キーワード	試行錯誤 思いや願い 作品や友達との対話
授業の実際 (本時の子供の姿)	本時は制作の2時間目の授業であった。活動は4人班で行い、教室の中央に試し描きエリア、教室の前方に材料置き場をつくり、友達の作品を見ることができるようにした。このような教室の中で、子供たちが友達の作品を見たり、友達の作品や友達の描いた線や形をもとに対話したりする姿が見られた。作品や友達と対話をする中で、自分の筆に「ローラーで描けるところを作りたい。」という思いをもち、友達の作品を参考に自分の筆を作り変える子供もいた。子供たちは、材料を追加したり、試し描きをしたりして、何度も試行錯誤しながら、オリジナルの筆を作っていた。
事後協議の概要	上記のような教室配置にすることで、自然に作品や子供達との対話ができ、試行錯誤する姿につながったのではないかという指摘があり、教室の環境の重要性が確認できた。 本題材では、「筆の描き心地」、「筆のデザイン」のどちらにもこだわる多くの子供がいた。筆を制作する中で、自然とどちらにもこだわっている様子であった。そこで、両者を重視した作品例を見せ、それぞれの項目で評価を取ることで片方だけではなく両者を重視した授業展開ができると考える。

